

2025 年度 事業報告書

一般社団法人こどもとねっと

事業期間：2025 年 4 月 1 日 ～ 2026 年 3 月 31 日

誰にでも、必要なつながりがあり、
ありのままを認められる暮らしの中で、
一人ひとりが誰かのためや社会に対して役割を持てる社会へ

佐賀県東部地域を中心に、子どもと家庭が
地域や社会とのつながりを持ち続けられる環境づくりに取り組みました。

1. 法人の目的と 2025 年度の取組

一般社団法人こどもとねっとは、子どもの人権を真ん中に、地域の多様な人たちがそれぞれのできごと・やりたいことを持ち寄り、子どもが子どもらしく、生まれ持った可能性を発揮できる社会を目指して活動しています。

2025 年度は、鳥栖市・基山町を中心に、

- ①こども宅食によるアウトリーチ
- ②フードパントリーによる孤立予防
- ③不登校の子どもの居場所づくり

を柱として、子ども・家庭との日常的な接点をつくり、必要に応じて地域や専門機関へつながる取組を進めました。

2. 主な事業

(1) こども宅食によるアウトリーチ

孤立や困難を抱える子育て家庭に、毎月、食料品や生活物資等を自宅へ届けました。単に物資を届けることを目的とせず、定期的に訪問し、変化を求めずにつながり続けることで、家庭との関係づくりを行いました。

年度中の活動資料では約 130 世帯への宅食を実施しており、企業・生産者等から提供された食品や政府備蓄米なども活用しました。食をきっかけに玄関を開け、孤立を和らげ、必要な支援や相談につながるためのアウトリーチとして取り組みました。

(2) フードパントリー

食料品等を自ら選べる機会をつくるとともに、親子が外に出て、人と話し、ご飯を食べながら過ごせる場を設けました。保護者が少し息抜きできる時間や、先輩保護者・専門職等へ気軽に相談できる機会を大切にし、支援につながっていない家庭も参加しやすい場づくりを行いました。

(3) 不登校の子どもの居場所づくり

不登校の子どもの社会とのつながりの創出と学習機会の提供を目的に、子どもの状態や特性に応じた複数の居場所を運営しました。とどろき塾、Tano-Ben、フリーフリーのそれぞれに異なる特徴を持たせ、安心して過ごせる選択肢をつくりました。

事業	実施回数	延べ人数	実人数
とどろき塾	77 回	667 人 (子ども 483 人、保護者等 184 人)	15 人
Tano-Ben	21 回	274 人 (子ども 178 人、保護者等 96 人)	10 人
フリーフリー	39 回	263 人 (子ども 169 人、保護者等 94 人)	8 人

合計	137 回	1,204 人	33 人
----	-------	---------	------

元校長経験者、教育委員会、臨床心理士等と連携し、それぞれの場に必要な専門性を取り入れました。子ども一人ひとりに合った環境を選択できるようにしたことが、高い継続参加につながりました。

3. 2025 年度の成果

(1) 「食支援」から、つながりをつくる伴走へ

こども宅食やフードパントリーでは、食料や物資を届けることそのものだけでなく、継続して顔を合わせ、双方向のやりとりができる関係をつくることを重視しました。家庭が孤立したまま困りごとを抱えるのではなく、「相談してもよい」「助けてもらってもよい」と感じられる関係づくりを進めました。

(2) 子どもの状態に応じた多様な居場所

不登校支援では、送迎・食事付きの場、教育支援センターと連携した体育活動、臨床心理士が関わる自由度の高い居場所など、一つの形に子どもを合わせるのではなく、子どもの状態に応じて選べる環境を整えました。3つの居場所では合計 137 回、延べ 1,204 人が参加し、実人数は 33 人となりました。

(3) 専門職・学校・行政等との連携

元校長、教育委員会、学校、学習支援教室、スクールソーシャルワーカー、臨床心理士等と連携し、子どもを中心に据えながら必要な関係を丁寧につくりました。事業ごとに必要な専門人材を配置し、スタッフ間でも日常的に子どもの状況を共有しながら、個別性の高い関わりに対応しました。

4. 運営上の課題と今後

活動の広がりに伴い、内部の情報共有や役割分担をより体系化し、特定の個人に依存しすぎない運営体制を整えることが課題です。また、外部機関との連携についても、個別の関係だけに依存せず、定期的な情報共有や役割整理を通じて、持続可能で再現性のある連携体制へ発展させていきます。

今後も、困難が深刻になってから支援につなぐだけでなく、地域の中に日常的なつながりや居場所を増やし、子どもと家庭が必要なときに相談でき、必要に応じて専門的な支援につながる地域づくりを進めます。

5. 2025 年度の主な実績（まとめ）

項目	実績・取組
こども宅食	約 130 世帯への食料・生活物資等の定期配送と関係づくり
フードパントリー	食料提供に加え、交流・レスパイト・相談の機会を提供
不登校支援	とどろき塾、Tano-Ben、フリーフリーの 3 つの居場所を運営
不登校支援の実績	合計 137 回、延べ 1,204 人、実人数 33 人
連携	元校長、教育委員会、学校、SSW、臨床心理士等と連携